

Rotary



# 白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう  
ロータリーのもとで』

会長 中目 公英  
幹事 兼子 英聡



ロータリーは  
世界をつなぐ

2019-20年度国際ロータリーテーマ



## 第1603回例会

令和元年10月17日 (12:30～13:30)

### ○ソング

- 我等の生業

### ○スマイルBOX

- 中目公英会長（白河J.Cの金子理事長、卓話をありがとうございました。ゴルフ交流会もよろしくお願ひします。）
- 三瓶徹会員（今回の台風では石川町に住む母を早目に白河へ避難させ実家も無事でしたが、月曜日に石川町へ行くと町全体がかなりひどい状況でした。1日も早く元の石川町に戻ることを願うばかりです。）
- 齋藤孝弘会員（金子理事長、ご同行のみなさん、ご苦労様です。来週のゴルフ楽しみにしています。）
- 永野文雄会員（台風19号による被害を受けた方々にお見舞いを申し上げます。白河J.Cの金子理事長はじめゲストの皆様ようこそ。卓話ありがとうございます。職業奉仕の為に早退させていただきます。）
- 吉田充会員（白河青年会議所の皆さん、ようこそ!! 卒業後は白河西RCに入会することをお待ちしています。金子理事長卓話ありがとうございました。）
- 金田昇会員（金子君、本日は卓話ありがとうございます。RCの例会を楽しんで下さい。）

### ▶第1603回例会出席状況 (R元年10月17日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	24名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	2名
Ⓕ ②の出席者数	6名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	32名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	50
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	64.00%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

中目公英会長

皆さん、こんにちは。沢山の方にご出席いただきまして、本当にありがとうございます。まず、本日のお客様を紹介いたします。公益社団法人白河青年会議所より、金子善弥理事長さん、それから金澤史典さん、上田雄介さん、吉成茂さん、北住平さん、星野泰史さん、6名の方にご参加いただきました。本当にありがとうございます。このあと、例会のプログラムの中では金子理事長より卓話を頂戴することになっておりますし、来週は青年会議所と商工会議所青年部と我がロータリーとの交流のコンペと夜の懇親会がありますので、J Cの皆さん方には2週連続で我がクラブにお付き合いをいただきましてありがとうございます。是非、我がクラブに入会していただきますように重ねてお願いを申し上げます。それから次に、皆さんのところ台風19号の被害等々なかったでしょうか。大変雨の多い台風で、気象庁によると何年かぶりかで台風固有の台風に固有の台風の台風になるということでございます。フィリピン等々の呼び名はありますが、日本ですから気象庁が付ける台風19号の名前を呼びたいとは思っておりますが、そのようなことです。まだまだ近くの土砂崩れで通行止めになってる箇所も大変おおございます。皆さん方の生活いろいろと不便が生じてるのかもしれませんが、気を付けてお過ごしをいただければと思っております。後程、幹事のほうから話があると思っておりますが、第2530地区内に災害義援金の資金がありまして、おそらく皆さん方の被害があった所を地区のほうに申請すると何某かのお見舞金があるかもしれません。ですから、もしご自宅、会社等々で被害があった場合には兼子幹事のほうに連絡してもらえればと思っております。さて、その次です。先週、例会が終わったあと理事会がございまして、重要な議題を審議いたしましたから皆さん方にご報告をさせていただきます。まず初めに、我がクラブ来年度創立35周年を迎えるようになります。吉野会長エレクトと堀田副幹事さんのほうで、着々と今計画を練ってるところでございますけれども、9月19日に我がクラブのバスト会長会がありまして、そのバスト会長会からの具申を受けまして、創立35周年の実行委員長並びに特別幹事を先週の理事会で正式に決定をさせていただきましたのでご報告させていただきます。35周年の実行委員長には、居川孝男バスト会長。それから、特別幹事には青木大君となりました。これから、おそらく吉野会長エレクトと居川孝男実行委員長を中心に来年度の人事等々で皆様方にお声かけが始まると思われます。声をかけられた方は、はい喜んでの精神で35周年等々に向けてのいろいろな役目を担っていただければと思っております。それからもう一つ、今日皆さん方にもお召し上がりいただきましたが、この第一ホテルでのお食事でございます。実は、消費税が8パーセントから10パーセントに上がって、第一ホテルさんのほうから何とか西クラブさんの永野バスト会長時代にこちらの会場に移ってきて以来、もう十数年来一食の食事が据え置きのままになっておりますので何とかというお話を頂戴いたしまして、理事会で喧々諤々議論してもめにもめたのですが、苦渋の決断でこれ以上第一ホテルさんにもご迷惑かけられないということで、一応少額の値上げを認めることといたしました。来週からか、あるいは再来週からか11月からかその開始はわかりませんが、おそらく今よりもっと豪華なお食事になるかと思っておりますので、現状のまま値上げなのかもしれませんが、美味しいお食事のためにもっともっと例会の

出席に皆さん方熱心になっていただければと思っております。100円です。今まで1,500円で十何年間でした。私の年度で実際100円上がりますと、大体例会費で20万円。おそらく吉野会長エレクトの一年間通すと30万から40万位、例会費が上がります。我がクラブ出席率65パーセントくらいで予算を組んでいますが、皆さん方が出席率80パーセントから100パーセントになってしまいますと、私たちロータリーの奉仕活動に向けられる資金はゼロになってしまいます。まあひとつ皆さんほどほどに出席、本当は会長は100パーセント出席を願うところですけど、そういうふうなところで我がクラブの現状は維持しておりますので、これから例会のお食事が美味しくなると喜ばしいことだということで例会に出席していただければと思っております。それから、話が長くなって金子理事長に申し訳ないのですが、最後に職業柄これだけはやっぱりお話ししないといけないかと思えました。皆さん方のお手元にこの御大礼というチラシを差し上げました。こちらをご覧ください。来週の10月22日火曜日が、天皇陛下の即位礼が行われる国民の祝日になります。一応、このことにつきまして多少お話しをしないと立場上まずいと思っております。ちょっと2〜3分だけお話をさせていただきたいと思っております。そこに書いてあるとおり、即位礼というのは即位を天照大御神にご報告し、国内外の代表を前に即位を宣言される儀式であります。日本という国は、古事記、日本書紀に書かれている日本の神話によりまして、天上世界である高天原を司っている天照大御神様のお孫さん、瓊瓊杵尊（ににぎのみこと）というのがこの世、豊葦原中国（とよあしはらのなかつくに）、具体的にいうと、筑紫の日向の国、実際の地名とは合致しませんが、言ってみれば宮崎県の高千穂の日向地方に天孫降臨、天下ってきてこの日本を治めるようになりました。天照大御神様の孫の瓊瓊杵尊が下ってきた時に、天照大御神様は命令をお孫さんに下しています。天壤無窮（てんじょうむきゅう）という四字熟語を聞いたことがあるかと思っておりますが、天地ともに極まり無く、つまり豊葦原中国というものは天照大御神の直系の人たちが国を治めなさい。そうやって治めていくならばこの国というものには無限の繁栄を保証いたしますというふうな神勅を下して下ってきました。瓊瓊杵尊の五代孫にあたる方が今度は東のほうに行きまして和歌山県に来て、東征というやつですけど、そこから現在の奈良県の橿原の里にきました。そして、初めて天皇という名前を名乗るようになりました。それが神武天皇であります。それから、126代目の天皇さんが今回即位をなさる。この新しい天皇さんは天照大御神から瓊瓊杵尊が司った勅命、命令であるこの国を治めますというふうなことをまず初めに天照大御神に宣言、私が今度天皇になってこの国を治めますというふうなことを告げます。裏のページをご覧ください。即位礼の写真が上のほうに二つありますが、その上のほうです。真っ白な純白の東帯というのを着た天皇陛下が、これは平成天皇様ですけども、東帯というのは後ろに沢山尾が長いものですから、その尾を持っている宮内庁の侍従がいて、その後ろに三種の神器のうちの刀を持っているというわけですね。これでもって、宮中にある賢所（かしこどころ）、宮中三殿といわれる賢所。天照大御神の御分霊をお祀りをしている所に楚々と歩いて行きまして、これから私が天皇としてこの豊葦原中国、瑞穂国（みずほのくに）の日本を治めますというふうにご報告をして、天照大御神の誓いを私も守っていきますというふうにご報告をして自分で誓いを立てます。そのあと、その下の写真。これが即位の礼正殿の儀というやつです。天皇陛下が高御座（たかみくら）という大きい台の中に立っています。着ている装束

は黄櫨染御袍(こうろぜんのごほう)といひまして、言ってみれば今風で言うとゴールド色。黄金色の着物。これは禁色といわれて一般の人はこの色を着ては駄目だというふうに冠位十二階、奈良朝時代に制度化されて以来、天皇以外は絶対に着てはいけない色です。天皇陛下は黄櫨染という色あいの装束に身を固めて、国の内外に向かってこれから天照大御神様の命を受けて私がこの国を治めていきますという宣言をします。その下には、いわゆる皇族方と主な三権の長をはじめとして県知事さん等々、皆さんの中にも呼ばれている方がいるかもしれませんが、モーニング姿で行くような形になっています。この写真には出ていませんが、平成の天皇様の当時の内閣総理大臣は海部俊樹さんだったので、天皇様がそういうふうに宣言をしたあと、海部俊樹さんが今回の場合は安倍総理が国民を代表して天皇陛下万歳と万歳三唱するという、そういうふうな儀式が即位礼正殿の儀という形で行われます。そのあと、祝賀会のパレードが皇居から赤坂御所まで行われ、そのあと主要な方々だけを呼んだ祝賀会が帝国ホテルで行われるということが10月22日に行われます。是非、国民の祝日でおそらくテレビで中継されますから、この即位礼正殿の儀と我が国の国の成り立ちの根本の形が明確に見える日ですから、ご覧になっていただければありがたいと思います。以上、多少長くなりましたが会長の時間です。今日もどうぞよろしくお願いいたします。

#### ■幹事報告

兼子聡幹事

- 国際ロータリー第2530地区：補助金管理セミナー開催のお知らせ
- 国際ロータリー第2530地区：2019-20年度米山記念奨学生による体験発表会のご案内
- ガバナー事務所：行事規範の改定について
- 国際ロータリー第2530地区：台風19号の被害について
- TNK東日観光株式会社：2020年国際ロータリー年次大会参加旅行募集案内
- 白河市ユネスコ協会：令和元年度福島県ユネスコ活動研修会の開催について

#### ■本日のプログラム

##### ○プログラム委員会

櫻岡敏之委員長



皆さん、こんにちは。プログラム委員長の櫻岡でございます。本日は金子理事長をはじめ白河JC皆さん、お忙しいところをご出席ありがとうございます。公益社団法人白河青年会議所、第61代金子理事長からお願いいたします。

##### ○ゲスト卓話

白河青年会議所 第61代理事長 金子善弥様



皆様、改めましてこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました、2019年度公益社団法人白河青年会議所第61代理事長を務めております金子善弥と申します。いつもお世話になっている先輩方の前で卓話をさせていただきますのは大変僥越ではございますが、30分という短い時間ですがなんとかよろしくお願いいたします。まず、本日西ロータリーさんの例会にご招待いただきました私以外の5名のJCメンバーいますので簡単に紹介させていただければと思います。みんな西ロータリーさんの新入会員候補者という

ことで、よろしくお願いいたします。まずは一番奥にいるのは上田雄介専務理事です。続きまして、副理事長を務めております吉成茂副理事長です。続きまして、未来育成委員会という委員会がありますが、こちらの副委員長を務めております北住平君です。続きまして、未来創造委員会の委員を務めております星野泰史君です。あともう一人、金澤史典副委員長という者がおるんですが、奥様の実家の塙が被災しまして、後片付けを今日もぎりぎりまでされてたそうで、1時頃に到着の予定ですがどうか皆様よろしくお願いいたします。講演に入る前に今申し上げたんですが、このたびの台風19号により被災された人々に深くお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。我々白河JCも、このたびの台風19号により被災された方々に対して避難所に水などの支援物資を届けたりとか、日本JC福島ブロックと福島県社会福祉協議会と連携しまして復興ボランティア活動を行っております。昨日も須賀川市JCさんのテリトリーなんですけど、鏡石町成田地区、あそこは被害が大きい所ですって、こちらでごみを片づけたりとかトラックで運搬したりという作業を一日メンバーと一緒にやっけてまいりました。引き続き、各団体と連携し支援を続けてまいりたいと思っております。それでは、卓話のほうを始めさせていただきますと思います。まずは自己紹介をさせていただきますと思います。名前は金子善弥と申します。年齢は33歳。出身校は白河中央中学校、そのあと白河高校理数科に進学しまして、横浜市立大学国際経営学部という大学に入学させていただきました。白河にいる学生の時は、結構両親が厳しくてなかなか自由な時間がなかったため、大学に行って結構遊んでしまっていて、大学は一年留年してしまいました。その結果、かなり景気が良かったんですが私が5年かけて卒業した年度の就職活動の時期はリーマンショックが起きてまして、就職活動がかなり厳しい状況でした。父親からは特に会社に帰ってこいとは言われず、他人の飯を食べてこいと。できれば、不動産会社や建設会社以外の業界で働いて来いということで、かなり厳しい状況で育ったのでリクナビだったりマイナビだったり沢山就職サイトを使って100社くらいの会社を受けて、何とか「味の素株式会社」という会社に就職することができました。そのあと、サラリーマンやりながら震災が起きてまして、取りあえず地元に対して何か自分も貢献できないかなというところで3年半経ったところで退社しまして、「三金興業株式会社」に入社することになりました。こちら2013年ですね。帰ったその日に、会社の全体会議で紹介していただいて、そのあとに実家で両親と3人でご飯を食べていたんですが食事中にピンポンと鳴りまして、当時の白河JCの理事長であった佐藤太造先輩が私のことを迎えて来まして、私の父親とも話が既についておまして、親父がじゃあ善弥頼むわということで連れて行かれたのが白河JCの定例会で、訳もわからず名前と判子を押して入会したということで、帰ってきたその日に三金興業と白河JCに入社することになって今の現状でございます。趣味は美味しいものを食べたり飲んだり、あとは運動したり一人で映画館に行ったりとか、あとは最近ですとまたポケモンゴロにちょっとはまったりとかしているのが私の自己紹介でございます。あと「三金興業株式会社」についてちょっとだけ紹介させていただければと思います。こちらが会社のHPとなっております。ISOという国際基準の認証を受けておまして、品質の部分と環境の面で認証を受けております。大きく分けまして二つの部門で事業を行っております。一つ目が土木営業グループという土木グループで、高速道路のインターチェンジを作ったりだとか、あ



とはこういった道路ですね。あとはテニスコートを造成したり、あとは阿武隈高原道路も過去に工事をやらせていただいたことがあります。あとは建築営業グループというグループもありまして、こちら大信の聖ヶ岩ビジターセンターを作らせていただいたり、あとは白河駅前図書館ですね、こちらも作らせていただいたりとか、あとは中田の運動場のアナビススポーツプラザ、こちらのほうもやらせていただいております。あとは「楽市株式会社」さんからもお仕事をいただいております、駅前にあるマンションのほうも作ったりだとか、あとは小学校、こちらは白三小ですね、こちらのほうも作らせていただいたりとか地域密着の会社となっております。創業が93年で、あともうちょっとで100年経つ古い会社となっております。社訓が「時代の先取り健全経営、協調融和を旨とし地域社会の幸福と繁栄のため建設を通じ真心をもって奉仕する」という社訓を掲げて、日々地域に求められ続ける会社を目指して頑張っているところでございます。今日は、SDGsと白河JCというテーマで講演させていただければと思います。まず、SDGsというふうにこちらあるんですが、皆さん聞いたことはありますでしょうか。本年度、日本JCでは日本で一番SDGsを推進する団体と謳っております、白河JCも今年の事業でこちらを積極的に推進しているものを展開しているところでございます。まずこのSDGs、何の略かといいますと、Sustainable Development Goals、こちらの頭文字と最後のsを取った略がSDGsとなっております。日本語訳で、持続可能な開発目標ということで、2030年までに17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されている国際的な指標となっております。我々メンバーが今日付けておりますこちらのカラフルな輪っかですが、こちらSDGsのロゴマークとなっております。具体的な説明させていただくと、こちらが今述べた17の具体的な目標となっております。1から17でこういった、例えば貧困をなくそうとか、飢餓をゼロに。あとは後で何度か出てくるんですが、11番なんて住み続けられるまちづくりを。例えば、17番は、パートナーシップで目標を達成しよう。いろんなジャンル分けされた17の目標が、このようにカラフルな感じで分けられている国際的な指標となっております。こちら認知度はということで、果たしてどれくらいかといいますと、例えば日本の市民レベルでいうとまだ15パーセントしかまだ知名度がありません。日本では世界から見ても非常に認知度は低い状況となっております。続きまして、経営者はどうかといいますと、約38パーセントとこちらはまだ少ないんですが、こちらはここ一年間で27パーセントから11パーセントの増となっております、だんだんという感じのペースで認知度が向上してきておる状況です。かつての企業活動は利益を生み出すことが何よりの企業の存在意義とされてきましたが、環境配慮や社会貢献は会社にとってもリスクとされてきました。ただ、今の世の中を見てどうでしょうか。全国を襲う台風など、異常気象によりここ日本でも甚大な被害が沢山出ております。気候変動は農業や天然資材だけでなく、世界各地に広がっているサプライチェーンや流通などグローバル化した世界に多面的に大きな影響を与えております。このように個人、企業とも社会課題はもろろんのことながら、環境問題も無視できなくなっていると言っても過言ではないと思います。個人の問題と社会の問題は繋がっているということで、一度ここで個人の問題に置き換えて考えてみたいと思います。例えば寝坊。寝坊とありますが、皆さんも一度は寝坊して怒られた経験はあると思います。さてこの問題ですが、どのように社会問題と関係があるの

か見ていきたいと思います。寝坊に関する背景と発生する問題ということで、上の3つが問題であげられると思います。例えば、便利な世の中で24時間営業のコンビニがあったり、深夜まで続く面白いテレビ、そしてスマートフォンの普及によって情報が沢山あふれてる時代ということで、コンビニがあることで不規則な睡眠により睡眠障害が起きたりだとか、あとは面白いテレビで睡眠不足になって心身の健康への悪影響を与えたりだとか、あとは企業の生産性の悪化が考えられると思います。現在の社会問題は、非常にとても複雑となっております。そもそも、社会問題とは政府の取り組みでも、事業活動の舞台となる市場の取り組みでも効果の出ない取り残された問題というふうにいえると考えております。しかし、悲観するばかりでは何も進みませんので、課題可決のニーズからすべての仕事が生まれてくると思います。SDGsの目標に向けた取り組みは、世界においてもここ日本においてもビジネス活動が中心となっております。要するに、社会問題、環境問題は企業にとって大きなリスクとなる反面、ニーズであるといえると思います。SDGsを推進することで、ビジネスチャンスを拡大することができます。SDGs中心での経済効果なんですけど、12兆ドルもの経済成長と、3億8千万の雇用が生み出されるとされております。逆にいえば、取り組まないことにより企業にとっては社会に取り残されるというリスクがもたらされるというふうに言われています。それでは、SDGsの取り組みについて見ていきたいです。白河JC、他のJCではどのような活動を行っているか、JCでは支部、白河JCとか、須賀川JCの支部のことをロムというふうと呼ぶんですが、日本中のロムではどのような事業をされているかを紹介させていただきます。そして、その事業はどれくらい社会に貢献しているか。目に見えにくいものですから意外と考えたことない方もメンバーも多いと思います。例えば、白河JCで先輩方が始められた10年も続いた地域に本当に貢献された大昭和祭りを例にして見てみたいというふうに思います。例えば、地域の魅力を発信する事業でもありますので、11番SDGsの17のゴールのうちの11番ですね。住み続けられるまちづくりがゴール設定になります。もう一つ、地域と企業と行政の連携を生み出すことができた事業になりますので、その場合17番パートナーシップで目的を達成しよう、この2つがゴール設定になると思います。この17番はすべての課題解決の糸口になり得るパートナーを見つけやすいところもSDGsの魅力であると考えております。続きましてもう一つ、わんぱく相撲。白河JCでは現在行っておりませんが、私が小学校の頃、白河の関にあった会場で父に連れられて参加したことを覚えておりますし、現在でも全国で沢山のロムがこの事業を行っております。わんぱく相撲大会ですが、もっと多くの人に参加いただこうとするならば地域で魅力を伝える必要があります。そこで3番、すべての人に健康と福祉を。4番、質の高い教育をみんなにが当てはまると思います。また、5番のジェンダー問題。これは近年、土俵に女性が上がったというふうになって問題になったことが思い出されると思いますが、JCが行っているわんぱく相撲では、2019年今年も女子大会も開催されました。そのようなことを地域に示していくことで、組織や事業の価値は高まっていくんだと思います。そしてまた、各分野に貢献したいという思いのある方々の協力をいただけると共に、新たな事業手法も見えてくるかもしれないという可能性も秘めております。そして、今年度の白河JCの事業をもうちょっと紹介させていただきたいです。今年度、8月に2日間にわたって開催されたキャンプ事業では、2番の飢餓を

口に、すべての人に健康と福祉を。4番、質の高い教育をみんなに。7番、エネルギーをみんなに、そしてクリーンに。11番住み続けられるまちづくりを。12番つくる責任、つかう責任。14番海の豊かさを守ろう。16番平和と公正をすべてに。17番パートナーシップで目標を達成しよう。沢山ゴール設定しすぎた感もあるんですが、ポスターのこちら右上のほうですね、こちらのほうに各ゴール番号を印字しまして、対外的にPRさせていただきました。事業のプログラムの中でもSDGsをふんだんに盛り込んだプログラムとなっております、参加してくれた小学生のみんなもSDGsという言葉覚えて帰ってくれたんじゃないかなと思います。続いて9月には、関山で行われましたクリーンアップトレッキングですね。こちらは二部構成になってまして、第一部では住み続けられるまちづくりを。15番陸の豊かさを守ろう。第二部のなすびさんの講演会のほうでは、11番住み続けられるまちづくりをということで、こちらもポスターのほうにゴール番号設定させていただきました。そして10月26日、これから開催される中学生を対象とした、体験型進路相談会では、1番貧困をなくそう。4番質の高い教育をみんなに。8番働き甲斐も経済成長もをゴール設定とさせていただいております。そして、JCだけではなくて会社のほうでSDGsを取り組んでいる事例を二つだけ紹介させていただきたいと思っております。不動産業を営んでおられる大阪にある「株式会社エムズスタイル」さんという会社があるんですが、こちらの会社は10番と11番を設定しております。10番のほうは、人や国の不平等をなくそうということで、不動産賃貸業でどんな国の国籍の人でもどんな方でも入居を受け入れております。11番住み続けられるまちづくりをということで、住めなくなった建物をリフォームしたり、リノベーションして、その建物から地域を活性化させるという目標を設定しております。社長が仰ってるんですが、取り組んで良かった点です。指標ができて従業員がモチベーションが上がり前向きに取り組んでくれた点。今後の展望としましては、沢山の不動産会社や役所、建築業者と連携していきたいというふうな声も出ております。続きまして、こちら新潟県の結婚式場や飲食業を営んでいる「有限会社プリンキピア」という会社です。こちらの会社では、12番つくる責任つかう責任というゴール番号を設定しています。食べ残しを残さないようにしたり、地場産の形の悪い売り物をなかなか売りにくいんですが、そちらの野菜を使い切ったりとか、昼に残った食べ物をあとで食べるようにしたり、他の店舗の余った食材を料理に利用したりしております。そして、あともう一つ17番、パートナーシップで目標を達成しようということで、SDGsを軸に他の飲食店や和菓子屋さんなどの市民共同によるレストラン事業をこれから検討中ということでございます。取り組んで良かった点ですが、SDGsを通して人脈が増えた。あとは、取引先とのコンペの際にSDGsの理念に共感を得ることができて契約に至ったとか、またプレゼンの際に社会改善のための事業であるという確固たる自信が持てたというふうな声も出ております。そして、私の会社の「三金興業」でもSDGsを取り入れて、対外的にPRさせていただいております。11番住み続けられるまちづくりをというゴール設定を軸に、4番、5番、8番、9番、17番と個々発生するようなイメージでSDGsを設定させていただいております。会社の企業理念が、建設を通じて人生を楽しみましょうというところで、ゴール11番の住み続けられるまちづくりをが一番のメインの目標となっております。それに派生しまして、質の高い教育をみんなに4番ですね、こちら次世代に継承するという目標と、5番ジェンダー平等を実

行しようということで、女性の社員だったり女性の事務局員を積極的に採用に取り組んでおります。8番働き甲斐も経済成長もということで、自分で問いかけ自分で考え自ら進んで行動する環境を提供するということで、社員にそのような意識を持ってやっていただきたいと考えております。それとゴール9番産業と技術革新の基盤を作ろうということで、地域の安心安全を守るという目標を掲げさせていただいております。最後に17番、ゴール17ですね。パートナーシップで目標を達成しようということで、こちらもISOの品質と環境の部分とSDGsの推進を絡めて、これからもみちのくの玄関白河からお客様に信頼されて次世代に継承できる地球環境を尊重した企業を目指していきたいというふうに日々取り組んでおります。続きまして、何故SDGsを紐づける必要があるのでしょうかということ、こちらを見ていただきたいと思っております。まず一つ目が、課題の抽出が上手になります。17項の色分けされたわかりやすいゴール目標がありますので、その中から自分の会社が今抱えている課題は何かということが見つけやすくなっております。続きまして、2番目で何気なく行ってきた社会貢献が明確になります。例えば、会社の回りでごみ拾いをしたりとか、他にもいろいろ慈善事業やってると思うんですが、それが何のゴール番号に当てはまるのかということで対外的にもPRしやすいですし、自社のメンバーも理解がしやすい設定となっております。あとは3番ですね。こちら社会にどのような貢献をしているか示せる。そして4番、こちら後で説明しますが組織団体の体内美化にということにも貢献できると思っております。5番が先ほども見ていただいたとおり、ぱっと見カラフルなので視覚的にもとても可愛いという利点もございます。我々がSDGsの取り組みを社会や周囲に示すことにはブランディングにも繋がります。そして、それがJCや企業活動の意義というふうになってくるのかなというふうに思います。先ほどの4番ですね。組織団体の体内美化にということ、例えば企業でも福利厚生強化だったりとか、残業を減らす、女性が活躍できる組織作り、ペーパーレス化、節水省エネなど、要するに働き方改革に繋がります。風土を改革していく指標にもなります。こういった取り組みから、例えば人材確保の強みにもなったりしていくんじゃないかなと考えております。こちらご覧いただきたいんですが、これは一言多い張り紙というSDGsのひとつのツールでございます。こちらの本日はノー残業デーというところを例に挙げますと、この上の部分にちょっと一言多く書いてあるんですが、地球上のすべての働き方が健全になるためにということ言葉が書かれておりまして、これがSDGsに関係しております。ネットで検索するとこういったことがいろいろ出てくると思っておりますので、是非時間がある時に見ていただければと思います。是非、





これから白河J Cの事業だったりとか、会館でこういうのを張り出して見たりとか、会社でも活用していただければと思います。そして、SDG sとJ Cは国連で繋がっているんですが、国連が最も重要視しているSDG s達成に向けた、先ほど17個あるうちのゴール番号をご紹介します。重要視しているのは、ジェンダー平等を国連は重要視しております。すべてのゴール達成にはこの5番、ジェンダーの平等なくしては達成できません。特に、社会保障の問題、少子高齢化など、日本でも大きな課題もこの5番ジェンダークオリティに関係しております。J Cの話になってしまうんですが、どの組織も団体もほぼ同じことがいえると思います。全国のJ C会員の女性の割合をご存じでしょうかということで、答えは7パーセントしかないんですね。こちら特に世界中にJ Cという組織があるんですが、日本と韓国が世界的に見て少ないようで、14人の男性に対して1人の女性ということになります。これは国際的に珍しい状況らしくて、今後見直していかねばならない日本中のJ Cの課題であるといえます。そんな問題に対して日本J Cが取り組んだこと先ほども紹介させていただきましたが、わんぱく相撲大会こちらでは男の子だけでなく女の子の参加できる女子大会がありました。こういった活動をやって、そしてPRしていくことでジェンダー平等を積極的に推進し、女性会員を増やすという気運も高まっております。課題はいつも身近にありまして、灯台下暗しとはこのことだとよく思います。だからこそ、SDG sという世界共通認識である指標が必要だとJ Cでは考えております。解決しなければならぬ問題イコールゴールではなくて、解決しなければならぬ課題を克服していくための指標、すなわち手法だと考えております。先日、メンバーからこのような質問がありました。何故私たちは公益に資する活動をしているのに、SDG sに資する活動に変えなければいけないのでしょうかということがあったんですが、そうではなくて公益に資するJ Cの活動の意義を高めるためにSDG sという指標が必要なんだというふうに考えております。続きまして、ここでロムの事業を会社でも取り入れる参考としまして、社会問題を例に取り上げていきたいと思っております。課題の掘り出し方について少し説明いたします。ここでは待機児童問題について例を挙げてみます。この社会問題には保育士の労働環境、母親の子育てと仕事の両立、父親の育児参画意識の低さ、という3つの潜む課題があるといえます。1番、保育士の労働環境ですが、子供相手ですら予想外のトラブルやハプニングは付きものです。また、低賃金でハードワークなケースが多く、そういった環境から保育士不足に陥っていますという問題が挙げられると思っております。2つ目が、母親の子育てと仕事の両立が困難になっているという課題があります。シングルマザーなど仕事をしながら育児を行う母親も多く、女性が働きやすい環境の整備は喫緊の課題であると思っております。経済成長を果たすためにも、私たちJ Cもこれから取り組んでいく必要があると思っております。そして、3つ目の課題として取り上げたのは、コミュニケーションの希薄化です。近隣などの顔と顔が見える繋がりがなくなってきたことで、助け合うことができず、少しちょっとしたことでも頼ることができない。そういった子育てがかえって困難な状況になっているというふうに考えております。このように、待機児童という社会問題一つ取り出してみても、原因に繋がる要素は多岐に渡ります。例えば、皆様の会社でボトルネックになっているスタッフがいたとします。その社員をクビにしても、おそらく何も会社も改善されないというふうに思います。その社員を取り巻く家族や子供たちの環境、会社の組織形態を見直

す必要があるのかもしれませんが。このように、広い視野で課題解決に取り組んでいく指標としてもSDG sは非常に有効的だといえると思います。SDG sのもう一つの視点としまして、5つのPというのがあります。上から、人間 People。豊かさ

Prosperity。地球 Planet。平和 Peace。最後に、パートナーシップ PartnershipのPですね。こちらからもSDG sをターゲットにして参考にすることができると思います。簡単に説明させていただきました。最後になるんですが、こちら先ほどの17個のロゴと違って色が変わってきてるんですが、こちら2016年7月にドイツの財団と持続可能な開発ソリューションネットワークというSDG sの推進してる団体が、達成度に応じた進捗状況を発表しました。緑色が達成度の高い色になっています。黄色が達成度の度合いが中程度。赤い色が達成度の度合いが低い状況になっております。こちら日本の状況なんですが、大体世界で推進しているSDG sの国の中で北欧諸国が上位を占めてまして、日本は149か国中18位ということで、日本はゴール番号1番の貧困と、5番ジェンダー平等、7番エネルギー、13番気候変動。14番海洋、15番生態系・森林。17番パートナーシップについて達成度の低い指標が出ております。こちらの赤の部分これから重点的に推進していくことで、より豊かな世の中になるというふうに考えております。要するに、いろいろ説明させていただきましたが、SDG sのゴールとは何かの問題を解決する差をなくすと考えるのではなくて、困難な状況にある人たちが諦めずチャレンジできるようなシステムを整えることだというふうに思っております。最後になりますが、本日私のつたない講演を聞いていただいて共感して下さった方がいましたら、この地域をより良くするための一つのツールとしてSDG sを活用していただければ幸いです。今後とも、明るい社会豊かな社会を築くために、白河J CはSDG sのツールの一つとして運動を展開してまいります。共にやりましょうSDG sということで、以上で講演を終わります。ご清聴ありがとうございました。

#### ○白河青年会議所 金澤様

白河青年会議所の金澤と申します。貴重なお時間いただきましたので、PRさせていただきたいと思っております。先ほどもちょっとご紹介がありました事業なんですが、中学生の進路意識を高めるということを目的にしまして、10月26日に白河国体記念体育館で中学生向けの企業説明会という形で事業をさせていただきます。こちらは、進路意識というもの中学生というのがほとんどだということで組ませていただきました。一人でも多い参加を募っておりますので、是非お知り合いの方いらっしゃいましたら、中学生に声かけていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

